

2025年度 シラバス

科目名	基礎数学						
担当教員	梁瀬 容一						
実務経験	無 / (有) (高等学校で教諭として実務経験あり)						
学科学年	救急救命科1年	前期 ・ 後期	講義 ・ 実習	単位数	2	時間数	30
授業目標	数学の基本的な能力を養うと共に、さらには応用力を身に付け、 演習問題を解けるようにする。						
授業内容	第 1回	数の計算① (小数・分数)					
	第 2回	数の計算② (正の数・負の数)					
	第 3回	式の計算① (文字の式、式の展開)					
	第 4回	因数分解 (公式、たすき掛け)					
	第 5回	数の計算③ (根号を含む式)					
	第 6回	方程式① (1次方程式)					
	第 7回	方程式② (連立方程式)					
	第 8回	方程式③ (2次方程式、[因数分解・解の公式])					
	第 9回	第1回～第8回まとめ					
	第10回	速さ・濃度①					
	第11回	比の計算、割合①					
	第12回	図形① (面積・体積・角度)					
	第13回	確率① (順列、組合せ)					
	第14回	確率② (いろいろな確率)					
	第15回	まとめ					
使用教材	指定問題集・テキスト						
評価方法	出席・提出物・単元テスト・期末試験等により総合的に評価する。						

	教務主任	学科長	担任
	菅井	青木	江

2025年度 シラバス

科目名	基礎数学						
担当教員	梁瀬 容一						
実務経験	無 / (有) (高等学校で教諭として実務経験あり)						
学科学年	救急救命科1年	前期 ・ 後期	講義 ・ 実習	単位数	2	時間数	30
授業目標	数学の基本的な能力を養うと共に、さらには応用力を身に付け、 演習問題を解けるようにする。						
授業内容	第 1回	図形② (三角形)					
	第 2回	図形③ (円・扇形)					
	第 3回	三角比 (角度と値)					
	第 4回	関数① (1次関数の式とグラフ)					
	第 5回	関数② (2次関数の式とグラフ)					
	第 6回	不等式、2次方程式					
	第 7回	規則性、素因数分解など					
	第 8回	第1回～第7回まとめ					
	第 9回	総合問題 (文章題)					
	第10回	総合問題 (図形)					
	第11回	総合問題 (方程式)					
	第12回	総合問題 (関数)					
	第13回	総合問題 (確率)					
	第14回	第9回～第13回まとめ					
	第15回	まとめ					
使用教材	指定問題集・テキスト						
評価方法	出席・提出物・単元テスト・期末試験等により総合的に評価する。						

	教務主任	学科長	担任
	菅井	青木	江崎

2025年度 シラバス

科目名	人文科学1						
担当教員	小森 幸子						
実務経験	無 / (有) (公立小学校で教諭として実務経験あり)						
学科学年	救急救命科1年	前期 ・ 後期	講義 ・ 実習	単位数	2	時間数	30
授業目標	公務員試験における作文問題に対応できる文章表現力を養成する。						
授業内容	第1回	授業ガイダンス・作文試験について					
	第2回	原稿用紙の使い方・読みやすい文章の書き方					
	第3回	演習(1)「私が救急救命士を志す理由」					
	第4回	文章の構成とまとめ方					
	第5回	演習(2)－1 自己を見つめる					
	第6回	演習(2)－2 〃 推敲と添削					
	第7回	よい作文にするためのポイント					
	第8回	自己を知ろう・いままでの経験や思い出を振り返ろう					
	第9回	演習(3) 志望理由書の書き方					
	第10回	ブレーンストーミングの方法					
	第11回	演習(4)－1 社会問題①					
	第12回	演習(4)－2 〃 推敲と添削					
	第13回	弁証法的作弁の書き方					
	第14回	演習(5)－1 社会問題②					
	第15回	演習(5)－2 〃 推敲と添削					
使用教材	書く力を身につける 作文ワークブック						
	これだけは知っておきたい! 面接対策&ビジネスマナー						
	最新最強の地方公務員問題 初級 '26年版						
評価方法	定期テスト						

	教務主任	学科長	担任
			

2025年度 シラバス

科目名	一般知能 1						
担当教員	窪田 晴哉						
実務経験	無 / (有) (専修学校、個別サポート塾教諭として実務経験あり)						
学科学年	救急救命科1年	前期 ・ 後期	講義 ・ 実習	単位数	2	時間数	30
授業目標	判断推理の問題を使って、考える力を身につける。						
	資料を正しく読み取る力を身につける。						
	SCOAで問われる程度の英語力を身につける。						
授業内容	第 1回	論理・集合					
	第 2回	対応関係・順序関係					
	第 3回	位置関係・うそつき問題					
	第 4回	試合・暗号					
	第 5回	手順					
	第 6回	数量関係・位相					
	第 7回	軌跡					
	第 8回	道順・折り紙					
	第 9回	平面図形の分割構成					
	第10回	空間図形の分割構成					
	第11回	正多面体・展開図					
	第12回	立体の切断					
	第13回	資料解釈					
	第14回	資料解釈					
	第15回	英文					
使用教材	よくわかる判断推理 田辺勉著 実務教育出版						
	プリント						
評価方法	筆記テスト						

	教務主任	学科長	担任
			

2025年度 シラバス

科目名	人体の構造と機能 1						
担当教員	江面 洋一						
実務経験	無 / (有) (消防本部で消防士、救急救命士として実務経験あり)						
学科学年	救急救命科 1年	(前期) ・ 後期	(講義) ・ 実習	単位数	2	時間数	30
授業目標	緊急時における身体変化をアセスメントするために必要となる、正常な人体の構造および機能について習得する。						
授業内容	第 1回	講義ガイダンス・人体を構成する要素①					
	第 2回	人体を構成する要素②					
	第 3回	人体を構成する要素③					
	第 4回	神経系①(神経系の構成)					
	第 5回	神経系②(中枢神経系①)					
	第 6回	神経系③(中枢神経系②)					
	第 7回	神経系④(末梢神経系①)					
	第 8回	神経系⑤(末梢神経系②)					
	第 9回	神経系⑥(脳循環)					
	第10回	感覚系①(感覚系の構成と役割・視覚器・聴覚器・平衡感覚器)					
	第11回	感覚系②(嗅覚器・味覚器・皮膚感覚器)					
	第12回	生殖系①(男性生殖器)					
	第13回	生殖系②(女性生殖器)					
	第14回	内分泌系①(内分泌・外分泌とは)					
	第15回	内分泌系②(各ホルモンの役割)・定期試験ガイダンス					
使用教材	救急救命士標準テキスト改訂第10版、他						
評価方法	筆記試験						

	教務主任	学科長	担任
	(菅井)	(青木)	(江面)

2025年度 シラバス

科 目 名	人体の構造と機能2						
担当教員	富樫伸治						
実務経験	無 / ☒ 有 (消防本部で消防士、救急救命士として実務経験あり)						
学科学年	救急救命科1年	前期 ・ 後期	講義 ・ 実習	単位数	2	時間数	30
授業目標	緊急時における身体変化をアセスメントするために必要となる、正常な人体の構造および機能について習得する。						
授業内容	第 1回	科目説明					
	第 2回	体表からみる人体の構造①					
	第 3回	体表からみる人体の構造②					
	第 4回	体表からみる人体の構造③					
	第 5回	体表からみる人体の構造④					
	第 6回	呼吸系①(呼吸系の構成と役割①)					
	第 7回	呼吸系③(呼吸系の構成と役割③)					
	第 8回	呼吸系③(ガス交換)					
	第 9回	循環器①(循環系の構成と役割①)					
	第10回	循環器②(心臓の構造)					
	第11回	循環器③(刺激伝導系)					
	第12回	循環器④(脈管・循環制御)					
	第13回	総復習					
	第14回	総復習					
	第15回	総復習					
使用教材	救急救命士標準テキスト改訂第11版、他						
評価方法	筆記試験						

	教務主任	学科長	担任
	菅井	青木	江面

2025年度 シラバス

科目名	基礎医学1						
担当教員	吉川 実						
実務経験	無 / (有) (消防本部で消防士、救急救命士として実務経験あり)						
学科学年	救急救命科 1年	(前期) ・ 後期	(講義) ・ 実習	単位数	2	時間数	30
授業目標	医療従事者には重要な解剖生理学を学び、基本的な知識を身に付ける。 国家試験では、非常に頻度が高いため、ポイントを絞り学ぶ。						
授業内容	第 1回	消化系					
	第 2回	消化系					
	第 3回	消化系					
	第 4回	消化系					
	第 5回	泌尿器系					
	第 6回	泌尿器系					
	第 7回	泌尿器系					
	第 8回	血液・免疫系					
	第 9回	血液・免疫系					
	第10回	血液・免疫系					
	第11回	筋・骨格系					
	第12回	筋・骨格系					
	第13回	皮膚系					
	第14回	皮膚系					
	第15回	上記の総復習					
使用教材	救急救命士標準テキスト改訂第11版、他						
評価方法	筆記試験						

	教務主任	学科長	担任
			

2025年度 シラバス

科 目 名	基礎医学 2						
担当教員	吉川 実						
実務経験	無 / (有) (消防本部で消防士、救急救命士として実務経験あり)						
学科学年	救急救命科 1 年	前期 ・ 後期	講義 ・ 実習	単位数	2	時間数	30時間
授業目標	救急救命士標準テキスト（疾患の成り立ちと回復の過程）の基本として医学の基礎的な知識を学び、国家試験のみならず、臨床実習や実便場において活用できる知識を身につける。						
授業内容	第 1回	疾患					
	第 2回	疾患					
	第 3回	炎症と感染					
	第 4回	炎症と感染					
	第 5回	循環障害					
	第 6回	循環障害					
	第 7回	代謝障害					
	第 8回	代謝障害					
	第 9回	進行性病変と退行性病変					
	第10回	進行性病変と退行性病変					
	第11回	腫瘍					
	第12回	先天異常					
	第13回	損傷					
	第14回	死					
	第15回	上記の総復習					
使用教材	救急救命士標準テキスト改訂第 1 1 版、他						
評価方法	筆記試験						

	教務主任	学科長	担任
	菅井	青木	江面

2025年度 シラバス

科 目 名	救急医学概論						
担当教員	富樫伸治						
実務経験	無 / (有) (消防本部で消防士、救急救命士として実務経験あり)						
学科学年	救急救命科 1年	前期 ・ 後期	講義 ・ 実習	単位数	2	時間数	30
授業目標	医療従事者にとって重要な、倫理観を養わせるため、多方面からアプローチし、わかりやすく丁寧な授業を実施する。						
授業内容	第 1回	基礎分野					
	第 2回	基礎分野					
	第 3回	基礎分野					
	第 4回	生命倫理					
	第 5回	生命倫理					
	第 6回	生命倫理					
	第 7回	医の倫理					
	第 8回	医の倫理					
	第 9回	医の倫理					
	第10回	医療体制					
	第11回	医療体制					
	第12回	医療体制					
	第13回	活動の基本					
	第14回	活動の基本					
	第15回	上記の総復習					
使用教材	救急救命士標準テキスト改訂第 1 1 版、他						
評価方法	筆記試験						

	教務主任	学科長	担任
	菅井	青木	江田

2025年度 シラバス

科目名	救急医療・患者搬送						
担当教員	青木 清						
実務経験	無 / (有) 消防本部で消防士、救急救命士として実務経験あり)						
学科学年	救急救命科1年	前期 ・ 後期	講義 ・ 実習	単位数	2	時間数	30時間
授業目標	救急救命士の役割と責任、救急救命士に関する法規について理解する。						
	災害医療の体制、災害時の活動について理解する。						
	傷病者の接遇、救急活動時の安全管理について理解する。						
授業内容	第1回	法令の基本					
	第2回	救急救命士法					
	第3回	消防法					
	第4回	その他の法令					
	第5回	救急救命士の生涯教育					
	第6回	病院実習の目的					
	第7回	安全管理と事故対応					
	第8回	救急活動で生じた事故への対応					
	第9回	医療事故と医療過誤					
	第10回	感染予防と感染対策					
	第11回	救急活動での感染防御					
	第12回	洗浄と消毒					
	第13回	感染事故と事故後の対応					
	第14回	ストレスに対するマネジメント、ストレスの概念					
	第15回	ストレスへの対応					
使用教材	救急救命士標準テキスト改訂第10版・11版他						
評価方法	筆記試験						

	教務主任	学科長	担任
	菅井	青木	江面

2025年度 シラバス

科 目 名	救急処置論						
担当教員	青木 清						
実務経験	無 / (有) 消防本部で消防士、救急救命士として実務経験あり)						
学科学年	救急救命科1年	前期 ・ 後期	講義 ・ 実習	単位数	2	時間数	30時間
授業目標	救急処置を実施する際に必要不可欠な資器材の特徴や使用法を理解させる。						
	国家試験でも多く出題されているため細やかな部分まで教える。						
授業内容	第 1回	パルスオキシメーター・カプノメーターの取り扱い及び観察要領と評価					
	第 2回	聴診器・血圧計の取り扱い及び観察要領と評価					
	第 3回	心電図モニターの取り扱い及び観察要領と評価					
	第 4回	心電図モニター・体温計の取り扱い及び観察要領と評価					
	第 5回	救急救命士が行う処置の目的と意義					
	第 6回	用手的気道確保					
	第 7回	エアウェイを用いた気道確保					
	第 8回	気道異物除去及び口腔内の吸引					
	第 9回	接遇とコミュニケーション					
	第10回	対象者に応じたコミュニケーション					
	第11回	医師・救急隊員及び消防隊員とのコミュニケーション					
	第12回	救急活動での説明と同意					
	第13回	人生の最終段階にある者への対応					
	第14回	傷病者の意思に沿った心肺蘇生					
	第15回	上記の総復習					
使用教材	救急救命士標準テキスト改訂第10版、11版他						
評価方法	筆記試験						

	教務主任	学科長	担任
	菅井	青木	福

2025年度 シラバス

科 目 名	観察と評価及び検査 1						
担当教員	吉川 実						
実務経験	無 / (有) (消防本部で消防士、救急救命士として実務経験あり)						
学科学年	救急救命科 1 年	前期 ・ 後期	講義 ・ 実習	単位数	2	時間数	30
授業目標	傷病者の観察や神経所見を覚え、緊急度・重症度判断を的確にできるようにさせる。						
	内容の理解を深めさせる。						
授業内容	第 1 回	観察総論					
	第 2 回	観察総論					
	第 3 回	全身状態の観察（外見・気道の観察）					
	第 4 回	全身状態の観察（呼吸・循環の観察）					
	第 5 回	全身状態の観察（意識の観察）					
	第 6 回	局所の観察					
	第 7 回	局所の観察					
	第 8 回	局所の観察					
	第 9 回	局所の観察					
	第10回	神経所見の観察					
	第11回	神経所見の観察					
	第12回	神経所見の観察					
	第13回	緊急度・重症度判断					
	第14回	緊急度・重症度判断					
	第15回	緊急度・重症度判断					
使用教材	救急救命士標準テキスト改訂第 1 1 版、他						
評価方法	筆記試験						

	教務主任	学科長	担任
	菅井	青木	江面

2025年度 シラバス

科 目 名	観察と評価及び検査2						
担当教員	吉田 颯良						
実務経験	(無) / 有 (						
学科学年	救急救命科 1 年	前期 ・ 後期	講義 ・ 実習	単位数	2	時間数	30
授業目標	酸素投与の必要性と効果、傷病者の適切な体位管理を理解させる。 傷病者搬送について、適切な救出・搬送要領を理解せる。						
授業内容	第 1回	酸素投与について（総論）					
	第 2回	酸素投与の適応、合併症					
	第 3回	体位管理（総論）					
	第 4回	病態別・症状別体位管理					
	第 5回	傷病者搬送（総論）					
	第 6回	傷病者搬送方法の種類					
	第 7回	器具を使った搬送①					
	第 8回	器具を使った搬送②					
	第 9回	搬送手順要領					
	第10回	搬送手順要領（Drヘリ、防災ヘリ）					
	第11回	事故車両からの救出（総論）					
	第12回	事故車両からの救出（観察）					
	第13回	事故車両からの救出（手技）					
	第14回	事故車両からの救出（手技）					
	第15回	外傷傷病者、観察評価から処置、救出要領					
使用教材	救急救命士標準テキスト改訂第10版、JPTECガイドライン、他						
評価方法	筆記試験						

	教務主任	学科長	担任
			

2025年度 シラバス

科目名	症候と病態 1						
担当教員	富樫伸治						
実務経験	無 / ☒ 有 (消防本部で消防士、救急救命士として実務経験あり)						
学科学年	救急救命科1年	前期 ・ 後期	講義 ・ 実習	単位数	2	時間数	30
授業目標	資器材の使用方法及び心肺停止の病態と処置を学び、救急現場において適切な判断と処置を実施できる事を目的とする。						
授業内容	第 1回	心肺停止（定義・病態）					
	第 2回	心肺停止（病態・原因）					
	第 3回	心肺停止（心電図分類・心肺蘇生）					
	第 4回	心肺停止（心肺蘇生）					
	第 5回	上記内容の復習					
	第 6回	救急蘇生法					
	第 7回	救急蘇生法					
	第 8回	救急蘇生法					
	第 9回	上記内容の復習					
	第10回	声門上気道デバイス					
	第11回	声門上気道デバイス					
	第12回	人工呼吸					
	第13回	胸骨圧迫					
	第14回	電気ショック					
	第15回	試験対策					
使用教材	救急救命士標準テキスト改訂第 1 1 版、他						
評価方法	筆記試験						

	教務主任	学科長	担任
			

2025年度 シラバス

科 目 名	症候と病態 2						
担当教員	江面 洋一						
実務経験	無 / 有 (消防本部で消防士、救急救命士として実務経験あり)						
学科学年	救急救命科1年	前期 ・ 後期	講義 ・ 実習	単位数	2	時間数	30
授業目標	咯血・吐血・下血の違いについて深く理解させる。						
	国家試験の頻出範囲であるため詳細なところまで教える。						
授業内容	第 1回	咯血					
	第 2回	咯血					
	第 3回	咯血					
	第 4回	復習					
	第 5回	吐血・下血					
	第 6回	吐血・下血					
	第 7回	吐血・下血					
	第 8回	復習					
	第 9回	体温上昇					
	第10回	体温上昇					
	第11回	体温上昇					
	第12回	体温上昇					
	第13回	復習					
	第14回	国家試験対策					
	第15回	国家試験対策					
使用教材	救急救命士標準テキスト改訂10版、他						
評価方法	五肢択一の筆記試験を実施						

	教務主任	学科長	担任
	(菅井)	(青木)	(江面)

2025年度 シラバス

科 目 名	症候と病態3						
担当教員	江面 洋一						
実務経験	無 / 有 (消防本部で消防士、救急救命士として実務経験あり)						
学科学年	救急救命科1年	前期 ・ 後期	講義 ・ 実習	単位数	2	時間数	30
授業目標	痙攣、運動麻痺、めまい、一過性意識消失と失神、眼・耳・鼻の疾患について学習する。						
	痙攣、運動麻痺、めまい、意識消失と失神に関しては国家試験頻出のため						
	より高度な知識を習得できるようにする。						
授業内容	第 1回	痙攣					
	第 2回	痙攣					
	第 3回	痙攣					
	第 4回	運動麻痺					
	第 5回	運動麻痺					
	第 6回	運動麻痺					
	第 7回	一過性意識消失と失神					
	第 8回	一過性意識消失と失神					
	第 9回	一過性意識消失と失神					
	第10回	第1回～第9回までの復習(小テスト)					
	第11回	眼の疾患					
	第12回	耳の疾患					
	第13回	鼻の疾患					
	第14回	眼・耳・鼻の疾患に関する復習(小テスト)					
	第15回	総復習					
使用教材	救急救命士標準テキスト改訂10版、他						
評価方法	五肢択一の筆記試験を実施						

	教務主任	学科長	担任
			

2025年度 シラバス

科 目 名	疾病救急医学 1						
担当教員	富樫伸治						
実務経験	無 / ☒ 有 (消防本部で消防士、救急救命士として実務経験あり)						
学科学年	救急救命科1年	前期 ・ ☒ 後期	☒ 講義 ・ 実習	単位数	2	時間数	30
授業目標	救急救命活動に際し必須となる呼吸系疾患について、以下の区分間のつながりを意識し、 人体の構造・機能を再考することにより、その基本的知識を体得できる： ①呼吸系の症候 ②呼吸系構造・機能に基づく疾患 ③呼吸系感染症						
授業内容	第 1回	講義ガイダンス・呼吸系の構造と機能の復習					
	第 2回	呼吸不全①一定義と概念・低酸素血症－					
	第 3回	呼吸不全②－高二酸化炭素血症・換気障害－					
	第 4回	ショック①－循環血液量減少によるもの－					
	第 5回	ショック②－心原性によるもの－					
	第 6回	ショック③－閉塞・拘束性によるもの・その他－					
	第 7回	呼吸困難①一定義と概念・分類－					
	第 8回	呼吸困難②－原因疾患・随伴症状－					
	第 9回	呼吸困難③－重症度の判断・現場対応－					
	第10回	呼吸系疾患①－気道疾患－					
	第11回	呼吸系疾患②－肺胞疾患－					
	第12回	呼吸系疾患③－感染症－					
	第13回	呼吸系疾患④－気胸・がん・間質性肺炎－					
	第14回	呼吸系疾患⑤－疾患まとめ－					
	第15回	プレテスト					
使用教材	救急救命士標準テキスト改訂第 1 1 版、他						
評価方法	筆記試験						

	教務主任	学科長	担任
			

2025年度 シラバス

科 目 名	疾病救急医学2						
担当教員	青 木 清						
実務経験	無 / 有(消防本部で消防士、救急救命士として実務経験あり 大学病院、クリニックで医師として実務経験あり)						
学科学年	救急救命科／1学年	前期 ・ 後期	講義 ・ 実習	単位数	2	時間数	30
授業目標	救急救命活動に際し必須となる循環系疾患について、以下の区分間のつながりを意識し、 人体の構造・機能を再考することにより、その基本的知識を体得できる： ①動脈硬化・虚血性心疾患 ②心筋・心膜・弁疾患 ③血管系疾患 ④心電図の観察						
授業内容	第 1回	講義ガイダンス・循環系の構造と機能の復習					
	第 2回	胸痛および動悸					
	第 3回	心不全①					
	第 4回	心不全②					
	第 5回	心不全③					
	第 6回	心不全④					
	第 7回	心不全⑤					
	第 8回	循環系疾患①ー虚血性心疾患①ー					
	第 9回	循環系疾患②ー虚血性心疾患②ー					
	第10回	循環系疾患③ー心筋・心膜疾患ー					
	第11回	循環系疾患④ー心臓弁膜症ー					
	第12回	循環系疾患⑤ー不整脈ー					
	第13回	循環系疾患⑥ー心電図の基礎と観察ー					
	第14回	循環系疾患のまとめ					
	第15回	プレテスト					
使用教材	『救急救命士標準テキスト改訂第10版・11版』『病気がみえる 第2版 Vol.2』 パワーポイント資料						
評価方法	筆記試験						

	教務主任	学科長	担任
	菅井	青木	江面

2025 年度 シラバス

科 目 名	疾病救急医学 3						
担当教員	吉川 実						
実務経験	無 / (有) 消防本部で消防士、救急救命士として実務経験あり)						
学科学年	救急救命科 1 年		前期 ・ (後期)	(講義) ・ 実習	単位数	2	時間数 30
授業目標	痛みの特徴や消化系疾患一つ一つを理解し、救急現場で緊急度・重症度判断と適切な処置を実施できる事を目的とする。						
授業内容	第 1回	腹痛					
	第 2回	腹痛					
	第 3回	腹痛					
	第 4回	上記内容の復習					
	第 5回	腰痛・背部痛					
	第 6回	腰痛・背部痛					
	第 7回	腰痛・背部痛					
	第 8回	上記内容の復習					
	第 9回	消化系疾患					
	第10回	消化系疾患					
	第11回	消化系疾患					
	第12回	消化系疾患					
	第13回	消化系疾患					
	第14回	上記内容の復習					
	第15回	試験対策					
使用教材	救急救命士標準テキスト改訂第11版、他						
評価方法	五肢択一の筆記試験を実施						

	教務主任	学科長	担任
	菅井	青木	江面

2025年度 シラバス

科 目 名	疾病救急医学 4						
担当教員	江面 洋一						
実務経験	無 / 有 (消防本部で消防士、救急救命士として実務経験あり)						
学科学年	救急救命科 1年	前期 ・ 後期	講義 ・ 実習	単位数	2	時間数	30
授業目標	泌尿・生殖系疾患の原因及び病態について理解する。 代謝・内分泌・栄養系疾患の病態症候について理解する。 血液・免疫系、筋・骨格筋系、皮膚系疾患の病態及び症状の原因について理解する。						
授業内容	第 1回	泌尿・生殖系（総論）					
	第 2回	腎疾患（各論）					
	第 3回	腎疾患（各論）					
	第 4回	生殖器（各論）					
	第 5回	代謝・内分泌・栄養系（総論）					
	第 6回	糖尿病と合併症（総論）					
	第 7回	低血糖（各論）					
	第 8回	糖尿病性ケトアシドーシス（各論）					
	第 9回	代謝異常（主な疾患）					
	第10回	血液・免疫系（総論）					
	第11回	アナフィラキシーショック（原因、症状、処置）					
	第12回	筋・骨格筋系（総論）					
	第13回	脊椎、関節疾患（各論）					
	第14回	皮膚系疾患（総論）					
	第15回	アレルギー疾患（各論）					
使用教材	救急救命士標準テキスト改訂第10版、他						
評価方法	筆記試験						

	教務主任	学科長	担任
	菅井	青木	江面

2025年度 シラバス

科 目 名	救急救命各論						
担当教員	青木 清						
実務経験	無 / 有 消防本部で消防士、救急救命士として実務経験あり)						
学科学年	救急救命科1年	前期 ・ 後期	講義 ・ 実習	単位数	2	時間数	30時間
授業目標	1. 頭蓋内圧上昇の機序・症候・悪化因子について理解する 2. 意識障害における観察事項・処置について理解する 3. 一次性・二次性頭痛の概念を理解する 4. 神経疾患における重要な症候、現場活動での要点を理解する						
授業内容	第1回	重症脳障害					
	第2回	重症脳障害					
	第3回	重症脳障害					
	第4回	重症脳障害					
	第5回	意識障害					
	第6回	意識障害					
	第7回	意識障害					
	第8回	頭 痛					
	第9回	頭 痛					
	第10回	頭 痛					
	第11回	神経疾患					
	第12回	神経疾患					
	第13回	神経疾患					
	第14回	神経疾患					
	第15回	上記復習および国家試験症例問題対策					
使用教材	救急救命士標準テキスト改訂10版・11版他						
評価方法	筆記試験						

	教務主任	学科長	担任
	(章)	(青木)	(江面)

2025年度 シラバス

科目名	外傷1						
担当教員	江面 洋一						
実務経験	無 / (有) (消防本部で消防士、救急救命士として実務経験あり)						
学科学年	救急救命科1年	前期 ・ 後期	講義 ・ 実習	単位数	2	時間数	30時間
授業目標	外傷のメカニズムを学び、現場活動に必要な知識と技術を学ぶ。 J P T E Cに準拠した外傷プロトコールを学び、現場活動に必要な知識と技術を学ぶ。						
授業内容	第1回 外傷総論（外傷の定義と種類）、JPTEC 第2回 外傷総論（外傷の疫学、防ぎえた外傷死）、JPTEC 第3回 外傷総論（出血と止血、創傷と治癒）、JPTEC 第4回 受傷機転（受傷機転の把握）、JPTEC 第5回 受傷機転（発生機序）、JPTEC 第6回 受傷機転（特異な受傷機転と損傷の特徴）、JPTEC 第7回 外傷性ショック（原因）、JPTEC 第8回 外傷性ショック（病態と生理）、JPTEC 第9回 外傷性ショック（観察と判断）、JPTEC 第10回 現場活動（現場活動と全体像）、JPTEC 第11回 現場活動（現場活動と全体像）、JPTEC 第12回 現場活動（傷病者観察と判断）、JPTEC 第13回 現場活動（応急処置）、JPTEC 第14回 現場活動（搬送）、JPTEC 第15回 上記内容の復習						
使用教材	救急救命士標準テキスト改訂第10版、JPTECガイドライン、他 						
評価方法	筆記試験 						

	教務主任	学科長	担任
			

2025年度 シラバス

科 目 名	外傷2						
担当教員	江面 洋一						
実務経験	無 / (有) (消防本部で消防士、救急救命士として実務経験あり)						
学科学年	救急救命科1年	前期 ・ (後期)	(講義) ・ 実習	単位数	2	時間数	30
授業目標	JPTECに準拠した外傷プロトコルを学び、現場活動に必要な知識と技術を学ぶ。併せて、症例問題などを出題し、国家試験対策としたい。						
授業内容	第 1回	頭部外傷					
	第 2回	頭部外傷					
	第 3回	顔面・頸部の外傷					
	第 4回	顔面・頸部の外傷					
	第 5回	脊髄・脊椎の外傷					
	第 6回	脊髄・脊椎の外傷					
	第 7回	胸部外傷					
	第 8回	胸部外傷					
	第 9回	腹部外傷					
	第10回	腹部外傷					
	第11回	骨盤外傷					
	第12回	骨盤外傷					
	第13回	四肢外傷					
	第14回	四肢外傷					
	第15回	上記内容の復習					
使用教材	救急救命士標準テキスト改訂第10版、JPTECガイドライン、他						
評価方法	筆記試験						

	教務主任	学科長	担任
	菅井	青木	江面

2025年度 シラバス

科 目 名	外傷3						
担当教員	吉川 実						
実務経験	無 / 有 (消防本部で消防士、救急救命士として実務経験あり)						
学科学年	救急救命科1年	前期 ・ 後期	講義 ・ 実習	単位数	2	時間数	30
授業目標	JPTECに準拠した外傷プロトコールを学び、現場活動に必要な知識と技術を学ぶ。併せて、症例問題などを出題し、国家試験対策としたい。						
授業内容	第 1回	皮膚および小児について					
	第 2回	皮膚および小児について					
	第 3回	熱傷					
	第 4回	熱傷					
	第 5回	化学損傷					
	第 6回	化学損傷					
	第 7回	電撃損傷					
	第 8回	電撃損傷					
	第 9回	縊頸					
	第10回	絞頸					
	第11回	刺咬症					
	第12回	刺咬症					
	第13回	復習					
	第14回	国家試験頻出問題の解説					
	第15回	国家試験対策および復習					
使用教材	救急救命士標準テキスト改訂第 1 1 版、他						
評価方法	筆記試験						

	教務主任	学科長	担任
	菅井	青木	江田

2025年度 シラバス

科目名	シミュレーション実習 1						
担当教員	青木清・富樫伸治・吉川実・江面洋一・吉田颯良						
実務経験	無 / (有) 消防本部で消防士、救急救命士として実務経験あり)						
学科学年	救急救命科1年	前期 ・ 後期	講義 ・ (実習)	単位数	4	時間数	180時間
授業目標	1、救急現場で、直ぐに活動できる救急救命士を育てる。 2、シミュレーション実習を通して、 国家試験症例問題に対応できる能力を身につける。 3、救急救命士（消防吏員）として、規律 ある行動が取れるようにする。 4、上記の内容を重点的に行い、実践的な現場活動を学ぶ。						
授業内容	第1回	トレーニング（体力錬成）、BLS・ACLS実技訓練（火曜日3、4時限）（木、金曜日1、2時限）					
	第2回	トレーニング（体力錬成）、BLS・ACLS実技訓練（火曜日3、4時限）（木、金曜日1、2時限）					
	第3回	トレーニング（体力錬成）、BLS・ACLS実技訓練（火曜日3、4時限）（木、金曜日1、2時限）					
	第4回	トレーニング（体力錬成）、BLS・ACLS実技訓練（火曜日3、4時限）（木、金曜日1、2時限）					
	第5回	トレーニング（体力錬成）、BLS・ACLS実技訓練（火曜日3、4時限）（木、金曜日1、2時限）					
	第6回	トレーニング（体力錬成）、BLS・ACLS実技訓練（火曜日3、4時限）（木、金曜日1、2時限）					
	第7回	トレーニング（体力錬成）、BLS・ACLS実技訓練（火曜日3、4時限）（木、金曜日1、2時限）					
	第8回	トレーニング（体力錬成）、BLS・ACLS実技訓練（火曜日3、4時限）（木、金曜日1、2時限）					
	第9回	トレーニング（体力錬成）、BLS・ACLS実技訓練（火曜日3、4時限）（木、金曜日1、2時限）					
	第10回	トレーニング（体力錬成）、BLS・ACLS実技訓練（火曜日3、4時限）（木、金曜日1、2時限）					
	第11回	トレーニング（体力錬成）、BLS・ACLS実技訓練（火曜日3、4時限）（木、金曜日1、2時限）					
	第12回	トレーニング（体力錬成）、BLS・ACLS実技訓練（火曜日3、4時限）（木、金曜日1、2時限）					
	第13回	トレーニング（体力錬成）、BLS・ACLS実技訓練（火曜日3、4時限）（木、金曜日1、2時限）					
	第14回	トレーニング（体力錬成）、BLS・ACLS実技訓練（火曜日3、4時限）（木、金曜日1、2時限）					
	第15回	トレーニング（体力錬成）、BLS・ACLS実技訓練（火曜日3、4時限）（木、金曜日1、2時限）					
使用教材	救急救命士標準テキスト改訂10・11版						
	JPTECガイドブック、スキルマスター						
評価方法	実技試験						

	教務主任	学科長	担任
			

2025年度 シラバス

科目名	シミュレーション実習 2						
担当教員	青木清・富樫伸治・吉川実・江面洋一・吉田颯良						
実務経験	無 / (有) 消防本部で消防士、救急救命士として実務経験あり)						
学科学年	救急救命科1年	前期 ・ (後期)	講義 ・ (実習)	単位数	4	時間数	180時間
授業目標	1、救急現場で、直ぐに活動できる救急救命士を育てる。 2、シミュレーション実習を通して、 国家試験症例問題に対応できる能力を身につける。 3、救急救命士（消防吏員）として、規律 ある行動が取れるようにする。 4、上記の内容を重点的に行い、実践的な現場活動を学ぶ。						
授業内容	第1回	トレーニング（体力錬成）、BLS・ACLS実技訓練（火、木、金曜日3.4時限）					
	第2回	トレーニング（体力錬成）、BLS・ACLS実技訓練（火、木、金曜日3.4時限）					
	第3回	トレーニング（体力錬成）、BLS・ACLS実技訓練（火、木、金曜日3.4時限）					
	第4回	トレーニング（体力錬成）、BLS・ACLS実技訓練（火、木、金曜日3.4時限）					
	第5回	トレーニング（体力錬成）、BLS・ACLS実技訓練（火、木、金曜日3.4時限）					
	第6回	トレーニング（体力錬成）、BLS・ACLS実技訓練（火、木、金曜日3.4時限）					
	第7回	トレーニング（体力錬成）、BLS・ACLS実技訓練（火、木、金曜日3.4時限）					
	第8回	トレーニング（体力錬成）、BLS・ACLS実技訓練（火、木、金曜日3.4時限）					
	第9回	トレーニング（体力錬成）、BLS・ACLS実技訓練（火、木、金曜日3.4時限）					
	第10回	トレーニング（体力錬成）、BLS・ACLS実技訓練（火、木、金曜日3.4時限）					
	第11回	トレーニング（体力錬成）、BLS・ACLS実技訓練（火、木、金曜日3.4時限）					
	第12回	トレーニング（体力錬成）、BLS・ACLS実技訓練（火、木、金曜日3.4時限）					
	第13回	トレーニング（体力錬成）、BLS・ACLS実技訓練（火、木、金曜日3.4時限）					
	第14回	トレーニング（体力錬成）、BLS・ACLS実技訓練（火、木、金曜日3.4時限）					
	第15回	トレーニング（体力錬成）、BLS・ACLS実技訓練（火、木、金曜日3.4時限）					
使用教材	救急救命士標準テキスト改訂11版						
	JPTECガイドブック、スキルマスター						
評価方法	実技試験						

	教務主任	学科長	担任
	(青木)	(青木)	(江面)